

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第451号 平成22年7月



『長井小紫』 松原 貞一

## 目 次

	頁		頁
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	10) 各種任意予防接種の公費助成について	地域医療部 … 16
2) 連載企画「ぶらり旅」	馬場真澄 … 3	11) がん診療連携における連携保険 医療機関名簿について	広報部 … 17
3) 専門医に学ぶ	田中逸人 … 4	12) 理事会報告	広報部 … 18
4) 学術部インフォメーション	学術部 … 6	13) 平成22・23年度西多摩医師会 各部分掌表・医道審議会表	広報部 … 21
5) 第22回西多摩心臓病研究会報告	清水茂雄 … 8	14) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 22
6) 広報だより「雑草との闘い」	土田大介 … 9	15) 表紙のことば	松原貞一 … 23
7) 西多摩地域糖尿病医療連携 検討会からのお知らせ	野本正嗣 … 10	16) あとがき	鈴木寿和 … 23
8) 青梅市医師会総会報告	鹿兒島武志 … 12	17) お知らせ	事務局 … 24
9) 青梅市子宮頸がん検診委託料 改定について	野本正嗣 … 15		

## 感染症だより

### 〈全数報告〉

第20週(5/17-5/23)から第23週(6/7-6/13)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症)結核 3件(肺結核2件、肺外結核1件)

(三類感染症)腸管出血性大腸菌感染症 2件(血清型・毒素型は2件ともO157(VT2))

(五類感染症)B型肝炎 1件

### 〈管内の定点からの報告〉

	20週	21週	22週	23週
	5.17～5.23	5.24～5.30	5.31～6.6	6.7～6.13
RSウイルス感染症				
インフルエンザ				
咽頭結膜熱			1	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	8	5	4
感染性胃腸炎	28	42	39	26
水痘	7	6	4	5
手足口病	3	3	2	1
伝染性紅斑	1		5	2
突発性発しん	1	5		
百日咳				1
ヘルパンギーナ	1		2	
流行性耳下腺炎	4	6	3	4
不明発疹症				
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
合 計	54	70	61	46

※基幹定点報告対象疾病(細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く))20週にマイコプラズマ肺炎が1件、23週に無菌性髄膜炎が1件報告されました。

### 〈コメント〉

#### ① 百日咳の発生が報告されました。

過去10年間と比較して、都内での百日咳の報告数が増えています。2007年以降は20歳以上の成人患者の割合が増加しています。これは、ワクチンの効果が低下してきたことが原因のひとつと推測されています。大人から、重症化しやすい新生児や乳幼児への感染を防ぐためにも、今後注意が必要です。

定点当たりの報告数は、第23週では、管内0.20、都内0.24、全国0.07です。都内の1週間当たりの報告数としては、感染症法施行(1999年)以来最大となっています。

#### ② 感染性胃腸炎の発生は横ばい状態です。

定点当たりの報告数は第23週では管内5.20、都内7.26、全国6.69です。都内では過去5年平均と比較して、高いレベルで推移しています。

2010年第15週(4.12～4.18)～2010年第22週(5.31～6.6)までに都内の定点医療機関から感染性胃腸炎の臨床診断名で21検体が搬入されています。検出された病原体はエンテロウイルス7件、アデノウイルス6件、ライノウイルス3件、ノロウイルス1件、ロタウイルス1件、その他のウイルス3件でした。

#### ③ 流行性耳下腺炎の発生は横ばい状態です。

定点当たりの報告数は第23週で管内0.80、都内0.94、全国1.31です。都内では過去5年平均と比

較して高いレベルで推移していますので、注意が必要です。

④ 手足口病の発生が報告されました。

定点当たりの報告数は、第 23 週では管内 0.20、都内 0.82、全国 1.58 です。都内では過去 5 年平均と比較して多い状況です。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

連載企画



## ぶらり旅

日の出町 馬場内科クリニック 馬場 眞澄

大した目的もなく、ただ温泉に浸かり美味しい食事を楽しむ“ぶらり車の旅”にでた。診療が終わった土曜日の午後、定年退職した知人と待ち合わせて、のんびり越後路へ向かった。エコカーで行く当てのない旅である。関越トンネルを過ぎると越後湯沢。さらに車を 30 分走らせると、NHK 大河ドラマ“天地人”の舞台となった、旧、南魚沼郡上田庄（南魚沼市）に着いた。ここは上杉景勝と直江兼統が育った地で、雲洞庵は幼少期の与平次（景勝）、与六（兼統）が、四書五経を習い、読み書きの教育を受けた庵寺である。今もなお人気があり、観光バスが押し寄せていた。雲洞庵の赤門から本堂に至る参道の石畳の下には、法華経を一石一字ずつ刻まれた石が敷き詰められており、「雲洞庵の土踏んだか」と言って参拝すると、万福多幸のご利益にあずかるといわれている。

雲洞庵を後にして湯沢に戻った。この辺りは温泉が多い。17 号線を数分走ると六日町温泉郷、大沢山温泉、越後湯沢温泉郷、神立温泉、松之山温泉郷、津南温泉郷と色々な温泉の看板が目に入ってくる。温泉の統計によると、全国の源泉施設は 26505 か所で、九州と北海道に源泉が多い。宿泊施設数は静岡、長野、大分、神奈川、北海道の順である。源泉数や施設数では新潟県は上位にランクされないが、温泉地数では全国で 4 位で、温泉地の看板が多いのがうなずける。湯沢駅の周囲には、日帰り温泉施設が数か所あって温泉巡りが楽しめる。新幹線の線路に沿って温泉街を走ると町営の“山の湯”に着いた。湯船は狭く硫黄の臭いがして少し熱いが、かけ流しの単純硫黄泉である。旅行者より地元民に愛されている共同浴場で、供給されている 2 本の温泉のうち一本は「雪国」を執筆した川端康成が逗留した高半旅館と同じ源泉であるそうだ。

翌日は、湯沢から苗場に行く途中の“神立の湯”に立ち寄った。ここは 6 年前の正月にアントニオ猪木と出会った温泉である。かけ流しのアルカリ単純泉で、非加熱、無ろ過、非循環。地下 1200m から湧き出る温泉は飲むことができペットボトルで売られている。

地下から湧き出す水、水蒸気、ガスの温度が 25℃以上。または決められた成分が基準値であれば温泉と定められている。温泉の入り口には成分表が掲示され効能が謳われている。心臓の湯といわれる二酸化酸素泉（炭酸塩泉）、美肌の湯といわれる炭酸水素塩泉（重層泉）、そのほか高血圧、動脈硬化に良い、リウマチに良いなど泉質により効果が言われているが、私は、ぶらり旅して、いろんな温泉を気ままに楽しんでいる。

# 専門医に学ぶ 第67回

## 問題

【症 例】 40歳、女性

【主 訴】 不正性器出血

【既往歴】 花粉症

【現病歴】 3経妊2経産

平成21年12月頃より不正性器出血および下腹部痛、陣痛様の痛みを認めたが放置していた。月経量増加傾向のため来院し、平成22年1月20日当科初診。

【現 症】 クスコ診上 Fig. 1を認め、少量の出血も認めた。

内診検査上、子宮は鶯卵大、両側付属器は触知せず。

### 【検査所見】

血液検査：WBC 9400/ $\mu$ l、RBC 334×  
10<sup>4</sup>/ $\mu$ l、HGB 9.2g/dl、HCT  
28.8%、PLT 24.0×10<sup>4</sup>/ $\mu$ l

生化学検査：TP 7.5g/dl、ALB 4.5g/dl、  
AST 21U/l、ALT 22U/l、  
LDH 194U/l、BUN 16.0mg/  
dl、CRE 0.67mg/dl、Na  
140.9mmol/l、K 4.23mmol/  
l、Cl 100.7mmol/l

腫瘍マーカー検査：CA125 8.2U/ml、  
CA19-9 2.4U/ml、CEA  
0.8ng/ml



Fig. 1

## 解答と解説

公立福生病院 産婦人科医長 田中逸人

### 筋腫分娩

#### 解説

子宮筋腫は婦人科腫瘍のなかで最も頻度が高いとされ、30歳以上の女性の20～30%、40歳以上の40%に筋腫が存在すると推測される。

顕微鏡的なものを含めると女性の77%に子宮筋腫が認められるという報告もあり、その84%が多発性である。

閉経後には子宮筋腫の大きさや数は減少するが、筋腫の頻度自体は減少しないとされている。発生部位における分類は以下の通りである。

漿膜下筋腫：漿膜の直下に発生するもの。

壁内筋腫：筋層内に発生するもの。

粘膜下筋腫：子宮内膜下に発生するもの。内膜に隆起した筋腫結節が子宮口から腔内へ突出するものは、筋腫分娩という。

今回の症例は筋腫分娩である。

子宮体癌、子宮体部肉腫などの悪性腫瘍を鑑別否定してから治療を行わなければならない。MRI等画像診断およびLDHの異常値等がないこと、また細胞診で問題ないことを確認してから治療を行うのが、最も良い。

筋腫分娩の治療法は、子宮全摘法、筋腫核出法があるが、妊孕性を保つためには子宮筋腫核出術となる。

筋腫分娩の核出術法として、茎が細い場合は直接子宮筋腫部分をペアン、コップェルなどで把握し自然に離断するまでこれを回転させる (Fig. 2)。茎が太い場合はできるだけ子宮腔内において、バイクリール等で結紮あるいは、内視鏡手術用ループ式結紮器を使用する。後者は樹脂製のガイドスティックの先にあらかじめ吸収糸のループが形成されている。もう一端の糸を牽引することにより、ループが縮小し結紮すると1週間後には、腔内に子宮筋腫核が脱落する。これらは外来等で行うことができる。

TCR (trans cervical resection) を使用し摘出する方法がある。これは手術室で行うため、大がかりになる。

それ以外には、保険適応外であるが、子宮動脈塞栓術 (UAE: uterine artery embolization) がある。術後1週間は疼痛、軽度の発熱を認めることが多い。

薬物療法はあまり期待されず、外科療法が主な治療法になる。

本症例は茎が細かったため、マルチンで子宮筋腫を把持し、捻除した。出血もほとんど認められず、捻除した1週間後も、全く出血を認められない状態であった。

その後3ヶ月経過しているが、再発は認められない。



Fig. 2



## 学術部 Information



5月20日(木)、青梅市立総合病院南棟3階講堂に於いて開催された西多摩医師会学術講演会について報告します。第一部では福生クリニック院長の玉木一弘先生が、「実地医家が参加した第Ⅲ相臨床試験の経験」というテーマで講演されました。続いて第二部の特別講演では独協医科大学循環器内科の石光俊彦先生が「ガイドラインから考える効果的な降圧薬の併用療法」というテーマで講演されました。両先生共に高血圧治療薬の最新のテーマに関するお話を頂きましたが、近年にわかに復活した降圧薬の合剤を我々臨床医がどのように使いこなしたらよいかを示唆してくれる講演会でありました。各講演の要旨は以下の通りです。

(学術部担当：江本 浩)

### 1. 実地医家が参加した第Ⅲ相臨床試験の経験

福生クリニック 玉木 一弘

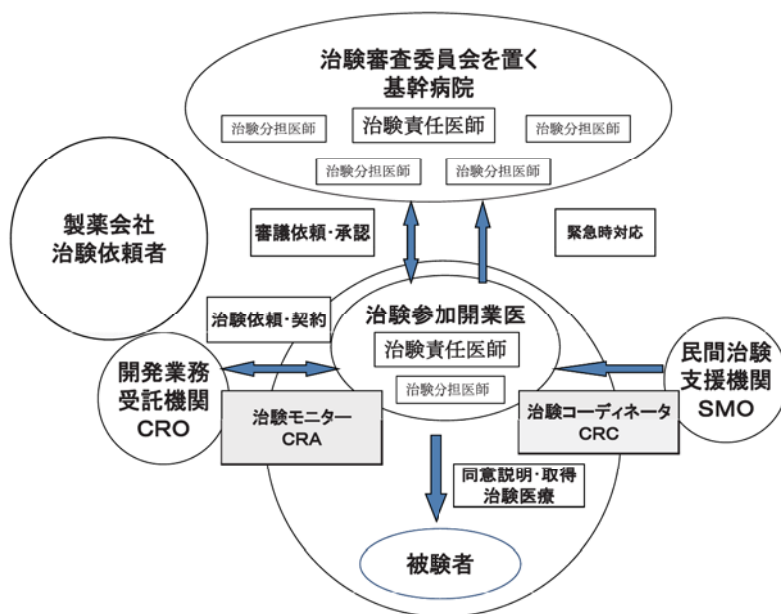
実地医家(いわゆる開業医)が広く使用経験をもつ、ARBとCa拮抗剤の合剤開発の第Ⅲ相臨床試験が「基幹病院と実地医家が治験グループを形成する治験モデル」によって行われ、参加経験をえたので報告する。Ⅲ相試験は、多症例で、既存薬剤との比較、効果や安全性の検証を担うが、リスクや症例数確保等において実地医家が貢献し易いプロセスである。

一連の治験は「倫理的」な配慮と「科学的」実施を目的とした国際標準規格に準拠し「医薬品の臨床試験の実施に関する基準(政令群)」で規定された、いわゆる「GCP治験」：Good Clinical Practiceで行われるが、その仕組みに対応する自院の体制作りが必要となる。

図に示すように、製薬企業は行政監視の下、医療機関群に治験を依頼するが、治験実施業務を代行する「開発業務受託機関」(CRO：contract research organization)と所属の「モニター」(CRA：Clinical Research Associate)を介在させ、治験実施に関係する法令や倫理の遵守、被験者の人権、安全及び福祉の保護、医療記録やデータの真正性の確認を行う。治験依頼者と医療機関との情報交換は、ほぼモニターを介して行われる。

基幹病院は「治験審査委員会」を設置し主体的に治験を統括する。各医療機関ごとに「治験責任医師」を置き、実地医家も自院でこれを担う。また治験責任医師の指導の下に、治験業務を分担する「治験分担医師」を複数配置できる。GCPでは、適正な臨床試験の実施に厳格なプロセスの実行と記録が求められるため、医療機関における煩雑な治験業務を支援する医療機関内部の「治験事務局」を設置したり、契約に基づく外部治験施設支援機関(SMO：Site Management Organization)と所属の治験コーディネーター(CRC：Clinical Research Coordinator、看護師、薬剤師等の有資格者)等協力者の助力を得ることができる。協力者は治験責任医師の監督下に、説明や同意の取得補助、治験のスケジュール管理、治験中の患者のサポートや連絡、症例報告書作成補助などを担うが、治験コーディネーターや様々な協力者が存在することにより実地医家がGCP治験に参加できるといっても過言ではない。

当院ではこれまで基幹病院と開業医の協働モデルで5件の治験経験をしたが、GCPはコーディネーターとの連携で十分対応可能である。使用経験のある既市販薬の効能追加、合剤開発等はリスクが少なく参加し易い。開業医の参加は患者(被検者)との既存の信頼関係により同意が得られ易く症例数の確保に資する。また社会貢献への協働意識の共有は、治験後の治療継続においても良好な信頼関係の基礎となる。医業経営においても経済効果があるなどのメリットが挙げられる。



「基幹病院と実地医家が治験グループを形成する治験モデル」の概念図

## 2. ガイドラインから考える効果的な降圧薬の併用療法

独協医科大学 循環器内科 石光 俊彦

高血圧の診断基準は 140/90mmHg 以上であるが、国内外の疫学的調査では、脳卒中や冠動脈疾患などの心血管疾患のリスクと血圧の間には正常血圧の範囲においても直線的な関係が認められ、115/75mmHg のレベルまでは血圧が低ければ低いほど脳血管障害や虚血性心疾患の発生が少なく、The lower, the better の考えが支持される。日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン 2009 (JSH2009) における血圧値の分類でも、140/90mmHg 未満の正常血圧の中に正常高値血圧 (130-139/85-89mmHg) や至適血圧 (< 120/80mmHg) の分類が設けられており、正常血圧の範囲においてもより低い血圧を維持するのが望ましいことを反映している。そして、糖尿病などの主要な危険因子が存在したり、慢性腎臓病 (CKD) などの臓器障害や心筋梗塞後などの心血管疾患を合併する場合には、130/80mmHg 未満と厳格な降圧目標が設定されている。現在、百種類近い降圧薬が使用されるようになってきているが、どの降圧薬を用いても単剤で目標血圧が達せられる症例は 30 ~ 40% であり、2/3 は十分な降圧効果を得るために 2 剤以上の併用療法が必要とされる。降圧薬を併用する際には、それぞれの降圧薬の作用機序を理解し、降圧効果が増強されるとともに副作用のリスクが相殺されるような組合せを選択することが望ましい。高血圧に様々な病態が合併する場合の降圧薬の適用を考える場合、副作用が少なく臓器保護効果に優れたアンジオテンシン II 受容体拮抗薬 (ARB) が第一選択薬として用いられることが多い。ARB 単剤で目標に達しない場合、腎機能や心機能の低下があり体液量の過剰が高血圧の病態に関与する症例では利尿薬、糖尿病や脂質異常症など心血管疾患のリスクが高い症例では Ca 拮抗薬を併用して確実な降圧を図ることが推奨される。近年、わが国でも降圧薬の合剤が使用されるようになり、服薬コンプライアンスや血圧コントロールの向上とともに医療費の節減に有用であることが期待される。

## 第22回 西多摩心臓病研究会報告

青梅市立総合病院 循環器内科 清水茂雄

第22回西多摩心臓病研究会が5月12日に青梅市立総合病院講堂で行われました。当番世話人として横田先生とともに筆者が担当し、心房細動、とくにワーファリン使用について取り上げました。

第1部では西多摩医師会の先生方を対象としたワーファリン処方に関するアンケート報告を行いました。回答は64人/59施設より戴き、この場を借りて御礼申し上げます。

1. ガイドラインに従い、心房細動に対してワーファリンを積極的に自施設で導入、使用している、2. 導入時の採血は1,2週間の間隔で行われる方が多い、3. コントロール目標はPT-INRで下限1.6前後、上限2.6前後が多く、年齢により分けている方も多、4. ワーファリン投与で塞栓症、また、出血の合併症を多くの方が経験し、コントロール目標を外れた場合は、原因探索を行い、軽度の異常ではすぐに投与量を変更せず、様子を見る方が多い、5. 歯科医の協力もあり、ワーファリンを中止せずに抜歯を行うことが多くなっているが、内視鏡治療については日本消化器内視鏡学会の指針通りに3-4日中止する方が多いが、アメリカ消化器内視鏡学会の指針通りPT-INR2前後であれば生検までは行う先生もおられる。また、高血栓症リスクはヘパリン置換が普通である、6. 抗血栓薬の上部消化管出血予防にプロトンポンプ阻害薬を併用することが多いが、FDAの警告もあり、ワーファリン、チエノピリジンではプロトンポンプ阻害薬に懐疑的な方も多、ことを報告致しました。

第2部の特別公演は日本大学医学部心臓血管外科講師の秦光賢先生が「開心術後のトータルマネージメントとワーファリン使用時の注意点について」という演題でお話しされた。秦先生は臓器移植支援NPO法人ハートtoハートジャパンの監事をされ、テーマソングCDを出し、手術だけでなく、学会活動、市民公開講座、空手大会など精力的に多数行っている方で、講演もその雰囲気で行われました。講演の要旨は以下の通りです。

オーストラリア留学中、心臓外科医は朝から晩まで手術だけを行っていたが、日本では術後、外来管理まで心臓外科医の仕事になる。このため、術後管理で多数の知見が得られ、今回はプロトンポンプ阻害薬とワーファリンについて報告する。術後の致命的合併症である上部消化管出血にはプロトンポンプ阻害薬が優れている。同時にワーファリンを内服する患者も多く、ワーファリンとプロトンポンプ阻害薬はともにチトクロームP450(CYP2C19)の代謝過程を共有するため、注意が必要である。日本人のワーファリンの平均投与量は3.5mgであるが、3.0mgで開始し4日目に採血するが、rebeprazole 10mg群と、lansoprazole 15mg群でPT-INRはそれぞれ $1.66 \pm 0.87$ 、 $2.06 \pm 1.03$ と異なり、注意していてもlansoprazole群で出血合併症が多く、ワーファリン投与中の患者ではrebeprazoleが比較的安全である。原因はCYP2C19の遺伝子多型によるもので、日本人には5人に1人がpoor metabolizerであり、その場合、競合阻害でワーファリンの効果増強が起こる。FDAは他にCYP2C19で活性代謝物となるclopidogrelについても警告している。

第3部では当院、鈴木紅より、当院における心房細動に対するカテーテルアブレーションの成績を報告しました。2002年に始まり2009年では年間50例と増加傾向にあります。発作性心房細動では1回目の手術後再発し、2回目を行わず、途中で断念される方もいますが、2回の手術で93%治癒され、途中で断念された方も含めてのコントロール率は85%で、全体で8割の方で抗不整脈薬、ワーファリンが不要になっています。また、持続性/慢性心房細動では2回



の手術での治癒率 85%、コントロール率 86% で、6 割の方が抗不整脈薬、ワーファリンが不要となっています。70 歳上の高齢者、心不全患者、長期成績については今後の課題ですが、心房細動の治療法の一つとしてご紹介いただきたいとの報告でした。

## 広報だより



### 雑草との闘い

青梅市 土田医院 土田大介

暑くなってきた、草取りをして腰を痛めたとか、虫に刺されてかぶれたと言って来院する人が増えてきた。昨年まではアパート・マンション暮らしだったのであまり気にも留めていなかったのだが、新居を構えて持つようになると手入れは必然となり、そういった患者さんの苦勞が身にしみようになってきた。

当初は、庭に芝生でも植えるとか、家庭菜園でも始めるかなどと思っていたものの、今に雑草とりや石ころ拾いだけで休日 2～3 時間はあっという間に過ぎていく。馴染みの患者さんに「庭持ちになったら常に雑草との闘いだ」とは散々聞かされていたが、特にこの時期は雑草の生長が速いので天気が悪いからといってちょっと気を抜くと草がボウボウに生えてしまう。雑草だけならまだ良いのだが、草が生えていれば虫が寄ってくるので、草取りをしているとあちこちを蚊などに刺されて皮膚がかゆくなる。長いことしゃがんで草取りをして立ち上がると足元がふらついて転びそうにもなる。暑いなか体を動かして汗をたくさん掻いていたら尚更だ。かがんだ姿勢を続けるのは腰への負担が大きく腰痛持ちには辛いかもしれない。今のうちはまだ良いが、70 や 80 になってまでやるのはとても大変である。うちの近所には高齢の方が増えてきており、草取りをして腰を痛めたというのであまり無理をしないようにと注意しても「他にやる人がいないから」と言われてしまう。それが現実である。防草シートの上に砂利を敷くのは 1 つの手だが庭の全てを覆う訳にもいかず、また除草剤を撒くのものにも抵抗があるので、これからも地道な草取りを止める訳にはいかない。

今の時期はペンペン草（ナズナ）やタンポポに加えて、名前の分らないイネ科の雑草やクローバーが増えてきた。ユキノシタは大分駆除して減らしたが、ドクダミは根っこをとりきれないのかすぐまた生えてくる。青じそ（大葉）は食べられるので残している。ところでいろいろ調べてみると雑草の中にも多くのものが食用ないし薬用として昔から用いられているのが分かり驚いた。ドクダミは十葉と言われ、腫れものや便秘など十種類もの薬効があるとされている。ユキノシタは虎耳草といって漢方薬の生薬として痔や中耳炎に用いられ、天ぷらとして食べてもおいしい。タンポポは、葉が蒲公英、根っこが蒲公英根という生薬になり、健胃薬として用いられているとのことだった。ナズナは春の七草の 1 つであり、七草がゆで用いられるのはご存知であろう。

「雑草という名前の草はない」というのは、生物学者でもあった昭和天皇の言葉である。人間の都合で草を邪険に扱うなどの意味だそうだが、確かに薬用植物を雑草として取り除くのに虫に刺されて薬を塗ったり、食べられる草を引っこ抜いてそこにキュウリや茄子などの野菜を植えたりするのは人間の身勝手なのかもしれない。しかしながら、ささやかな娯楽の 1 つとして自分の育てた野菜をとれたてで食べても良いのではと思うのは自分だけではないでしょう。かくして雑草との仁義なき闘いはまだまだ続くのです。

## 西多摩地域糖尿病医療連携検討会からのお知らせ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会（以下 検討会）は、西多摩医師会が東京都の委託を受ける形で平成 21 年度に発足いたしました。初年度は①糖尿病医療連携のための情報収集を目的としたアンケート調査（医科、歯科、薬科）②三師会会員向けの勉強会③市民公開講座を行ない、平成 22 年 3 月、検討会として以下の提言を行ないました。

### 平成 21 年度西多摩地域糖尿病医療連携検討会からの提言

#### (1) 糖尿病診療における包括的治療のために

- ① HbA1c 6.5% 未満を目標に治療。
- ② 経口糖尿病薬、インスリン治療患者では必ず低血糖について説明する。説明は診療スタッフ（医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・糖尿病療養指導士）の誰が行なってもよい。
- ③ 外来血圧 130/80mmHg 未満を目標に降圧。（尿タンパク 1g/日以上は、125/75mmHg 未満を目標に）
- ④ LDL コレステロール値は 120mg/dl 未満を目標に治療。
- ⑤ 全症例に糖尿病手帳、糖尿病眼手帳を持たせ、データ記入。
- ⑥ eGFR40ml/min/1.73 m<sup>2</sup>以下の症例は腎臓専門医へ紹介。

#### (2) 合併症早期発見のために

- ① 尿中微量アルブミンを全症例で年 1 回は測定。（3 ヶ月に 1 回は保険請求可）
- ② 全症例アキレス腱反射をチェック。（膝立位で診る）
- ③ 足病変（創傷、感染、爪の変形、白癬など）を全症例でチェック。
- ④ 全症例初診時に眼科へ紹介。（年 1 回は継続受診）眼科医との連携、糖尿病眼手帳の活用
- ⑤ 全症例にう歯、歯周疾患の有無を尋ねる。歯科医師との連携、糖尿病手帳の活用

#### (3) 情報共有、知識向上のために

- ① 症例検討会への参加。
- ② 研修会への参加。

#### (4) 市民啓発のために

- ① 市民公開講座の開催。
- ② 糖尿病患者会へのアプローチ。

◎糖尿病はチーム医療である。各科の医師・歯科医師・薬剤師・コメディカルが密に連携をとりつつ、一丸となって個々の患者に対応した最善の医療を行なっていく必要がある。

平成 22 年度は、新たに管理栄養士、患者会代表、行政代表を委員に加え、西多摩医療圏における、糖尿病の予防・治療に関与するすべての医療従事者、患者、行政の意識改革とレベルの底上げを図り、当地域における糖尿病診療・医療連携の充実と糖尿病患者の QOL 向上を目指して活動して行きたいと考えております。具体的には①医師向け講習会②コメディカル向け勉強会③市民公開講座④患者の意識調査等を行なっていく予定です。また新たな試みとして、西多摩医師会報に

毎月「検討会からの今月のメッセージ」を載せ、「簡単な提言」をしていきたいとも考えております。ごく当たり前の内容であっても100%達成されるということは大変なことであり、1人でも多くの方にこの「提言」を実践していただければ、当地域の糖尿病診療レベルは確実に向上すると思えます。会員の皆様には本年度も検討会へのご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

(文責：野本正嗣)

## 『糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ』

### 糖尿病患者さんに

- ・糖尿病と診断したら必ず糖尿病手帳と糖尿病眼手帳を渡して下さい。(原則として内科)
- ・検査結果を必ず記入し、説明して下さい。(内科・眼科)
- ・他の医療機関(歯科・薬局も含む)受診時は必ず手帳を提示するように指示して下さい。

※ ①糖尿病手帳 ②糖尿病眼手帳 ③両手帳が入るビニールカバー の入手方法

- ・①②③とも西多摩医師会事務局に置いてあります。必要な医療機関は事務局へお問い合わせ下さい。(糖尿病関連薬を販売しているメーカーからも入手可能です。)

### 西多摩地域糖尿病医療連携検討会

西多摩医師会理事	野本 正嗣
西多摩医師会副会長	鹿児島武志
西多摩歯科医師会長	岩永 克美
青梅市立総合病院 薬剤部長	田中 三広
青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科部長	関口 芳弘
公立福生病院 副院長	松山 健
公立阿伎留医療センター副院長	西成田 進
青梅市立総合病院 心臓カテーテル室長	清水 茂雄
青梅市立総合病院 血液浄化センター部長	木本 成昭
高村内科クリニック 院長	高村 宏
柳田医院 院長	柳田 和弘
葉山医院 院長	葉山 隆
高村内科クリニック 管理栄養士	土屋 倫子
糖尿病患者会「梅の会」会長	金嶽 義男
青梅市健康福祉部健康課長	高橋 秀夫
檜原村福祉健康課長	清水 稔
西多摩保健所長	友松 栄二

## 青梅市医師会総会報告

さる6月18日小雨の降りしきるなか、青梅市の三河屋で平成22年度青梅市医師会総会が開かれ、A、B 会員合わせて37名が出席した。野本会長の開会の挨拶のあと、中野前会長が議長となり、以下の4議題について議論された。

1. 平成21年度青梅市医師会決算報告が宮下会計担当役員から説明があり承認された。
2. 青梅市の子宮がん検診委託料の単価改定について医師会が提出した要望に対し、青梅市から正式な回答が得られ、改定について承認された。(別掲にて報告)
3. 子宮頸がんワクチンの公費助成について高木病院の宮原会員から子宮頸がんワクチンの現状とワクチン導入の意義について説明があった(後述)。協議の結果、ワクチン助成について青梅市に要望書を提出する事が承認された。
4. 来る平成25年11月移行の公益法人制度改革について、中野前会長より用語としての法人、また公益法人と一般法人との違い、が説明され、また西多摩地区の地区医師会である青梅医師会と西多摩医師会の相互関係などの概要を説明した。

そのほかの話題として、5月より開始された青梅市医師会による平日準夜間診療について開始1ヶ月で100名余の受診があり受診者地域もほぼ青梅市全域にわたっていることが判明した。発熱、頭痛、腹痛、咳嗽、下痢、嘔吐などの訴えが多いことが分かった。今後も病診連携さらに地域の救急医療へのさらなる貢献が期待される。総会終了ののちに、懇親会にうつり各人膝を交えて歓談し、10時過ぎに盛会のうちにお開きとなった。

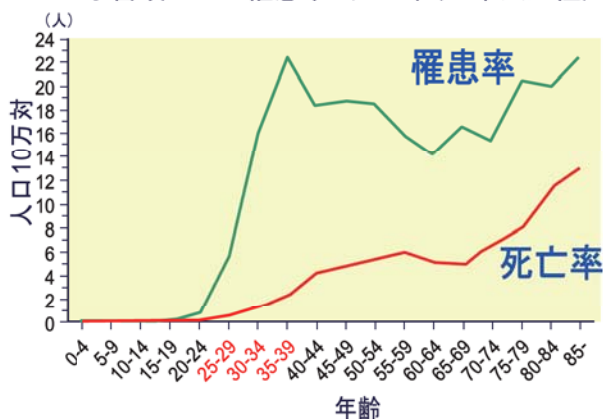
(文責：鹿児島武志)

### 子宮頸がんの現状と予防ワクチン導入の意義

#### 子宮頸がんの現状

子宮頸がんは、日本では年間約12,000人が発症し、約3,500人が死亡しているがんであり、女性特有のがんでは第2位である<sup>1)</sup>。また、たとえ死亡に至らないまでも、ごく初期のがんを除いては子宮摘出となる可能性が高く、その場合は妊娠や出産ができなくなることはもちろん、排尿障害などの後遺症により日常生活に支障をきたすこともある。子宮頸がんは近年、20代や30代の若年層で増加傾向にあり<sup>2)</sup>、これから結婚や出産を迎える年代の女性や幼い子供を持つ母親にとって深刻な問題である。子宮頸がんは、若い女性の妊娠や出産の可能性、健やかな日常生活を奪うがんと言える。

子宮頸がんの罹患率と死亡率(日本人女性)



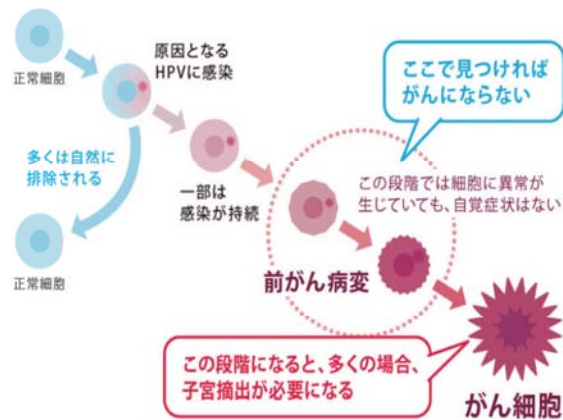
#### 子宮頸がんの原因と発症

子宮頸がんは、発がん性のヒトパピローマウイルス (HPV) というウイルスの持続的な感染が原因となって発症する<sup>3)</sup>。HPVには100以上の違ったタイプが存在するが、子宮頸がんの原因

となるのはその内15種類ほどである。HPVの子宮頸部への感染はほとんどが性交渉によるが、このウイルスに感染すること自体は決して特別なことではなく、性交経験がある女性であれば誰でも感染する可能性がある<sup>4)</sup>。

HPVに感染しても、ほとんどの場合、ウイルスは自身の免疫によって自然に排除される。しかしウイルスが排除されずに長期間感染が続く場合があり、ごく一部のケースで数年～数十年間か

けて、がんになる前の細胞が異常になった状態である「前がん病変」の状態を経て子宮頸がんを発症する<sup>4)</sup>。従って、このがんになる前の段階で、子宮がん検診によって早期発見できれば、体の負担が少ない治療をすることが可能である。また、原因であるHPVの感染を予防するワクチンも開発されており、欧米をはじめとする世界100ヶ国以上で発売されている。日本でも昨年12月より接種が可能となっている。



#### 日本人における HPV16 型・18 型の重要性

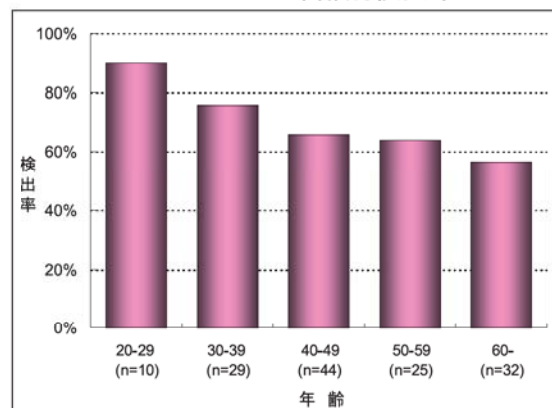
現在使用されている予防ワクチンは、子宮頸がんの原因として最も多いタイプの HPV である HPV16 型と 18 型の感染を予防する。この 2 つの型は子宮頸がんの組織から検出される HPV の 60%～70% を占めている<sup>5) 6)</sup>。昨年春に発表された最新の疫学報告によると、日本人の子宮頸がん患者における HPV16 型・18 型の検出率は 20 代では約 90%、30 代では約 80%、となっている<sup>7)</sup>。また、HPV16 型・18 型は感染後に悪性化するスピードが速く、がん化しやすい型である<sup>8)</sup>。

子宮頸がんの中でも腺がんは近年若年層を中心に増加傾向にあり、進行が早く予後が悪いとされる。さらに腺がんは子宮頸がん検診では発見されにくい特徴もあり、腺がんからは高い割合で HPV18 型と 16 型が検出される<sup>9)</sup>。以上から、日本人にとっては HPV16 型・18 型の感染を予防することは非常に重要であることが分かる。

#### 予防ワクチンの期待される効果

子宮頸がん予防ワクチンは HPV16 型・18 型に対する抗原を含み、この 2 つの型に対する予防効果は、ほぼ 100% である<sup>10)</sup>。グラクソ・スミスクライン（以下:GSK）のワクチンにおいては、その予防効果が 7.3 年間は持続することが臨床試験で確認されており<sup>11)</sup>、また、ワクチンの抗体価は少なくとも 20 年間持続することが推計されている<sup>12)</sup>。最近の研究では、同ワクチンの

日本人の子宮頸がん患者における HPV-16/18 の年齢別検出率



(14)

HPV16型・18型以外の型に対するワクチンの予防効果も報告されており、欧米では16型、18型について多いHPV31型・45型に対する有効率が100%、また日本人にも多い33型・35型・52型・58型に対する有効率が約70%と報告されている<sup>13)</sup>。これらの予防ワクチンの効果と、最新の日本人の疫学報告および子宮頸がんの年齢分布を照らし合わせると、予防ワクチンによって全ての子宮頸がんの発症数を約70%減少すると推計されている<sup>7)</sup>。

また、昨年発表された医療経済学的な検討では、12歳の女兒全員にGSKの子宮頸がん予防ワクチンを接種すると、これらの女兒の一生にわたる子宮頸がんの発症件数および死亡件数を共に約73%減少できることが推計されている<sup>14)</sup>。また、費用対効果の観点からは、同ワクチンの接種によって社会的損失を190億円抑制することが可能である<sup>14)</sup>。

以上から、子宮頸がん予防ワクチンを導入し、広く普及させることは大いに意義があることであると思われる。特に近年子宮頸がんの発症が増加傾向の若い世代の女性を子宮頸がんから守ることは、少子化対策の観点からも非常に重要なことと考えられる。

(文責：宮原 誠)

#### 参考文献

- 1) 2007年人口動態統計(厚生労働省大臣官房統計情報部編)より推計
- 2) 国立がんセンターがん対策情報センターホームページ(2009年05月26日更新)
- 3) Bosch FX et al.: J Clin Pathol. 55, 244-265, 2002
- 4) 川名敬ほか: 化学療法の領域. 22 1521-1528, 2006
- 5) Munoz N et al.: Int J Cancer. 111, 278-285, 2004
- 6) Miura S et al.: Int.J.Cancer 119: 2713-2715, 2006
- 7) Mamiko Onuki et al.: Cancer. 100, 1312-1316, 2009
- 8) Rachel LW et al: JID. 191, 731-738, 2005.
- 9) Clifford et al. Brit J Cancer. 88, 63-73, 2003
- 10) Susan JK et al.: Drugs. 68(3), 359-372, 2008
- 11) N De Carvalho et al.: 25th IPvC, Malmö, Sweden 2009
- 12) Marie PD et al.: Gynecol Oncol. 2009 (in press)
- 13) Skinner SR et al. IPvC, Malmö, Sweden 2009
- 14) 今野良ほか: 産婦人科治療. 97(5), 530-542, 2008

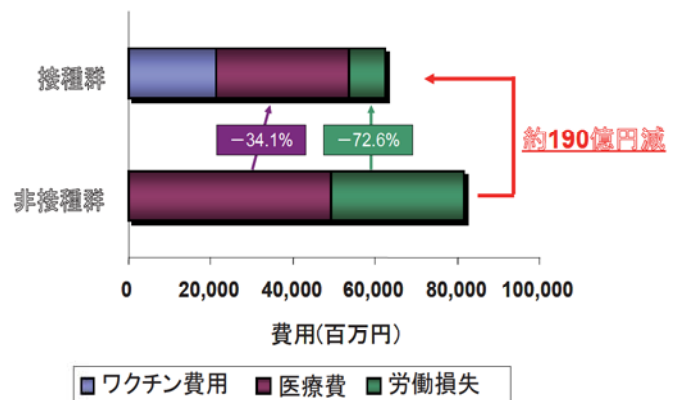
#### 発症率の減少効果



#### 死亡率の減少効果



#### 予防ワクチン接種による社会的費用の変化



14) 今野良ほか: 産婦人科治療. 97(5), 530-542, 2008

## 青梅市子宮頸がん検診委託料改定について

青梅市医師会長 野本正嗣

平成21年度青梅市子宮頸がん検診実施医療機関より、「当市の委託料が近隣及び東京都のどの地区よりも極端に安価なのは何か」という質問が寄せられたのは本年3月のことであった。具体的な金額を(表1)に示す。4000円を下回っているのは青梅市だけで確におかしい。

5月17日(月)幹事会にて検討した結果、検診料改定(値上げ)について青梅市に要望書を提出すべきという決定が得られ、5月19日(水)要望書を青梅市長宛提出。以後数回の交渉を行い、検診委託料は、平成23年度より診療報酬点数を算定根拠(初診料270点+細胞診150点+頸管粘液採取40点)とした4830円(消費税込み、材料費別)、平成22年度は4700円(同上)という金額で合意に達した。

新年度が始まっており、当該年度からの改定(値上げ)という基本的ルールを無視した我々の異例の要望に対し、青梅市 竹内俊夫市長には、大いなるご理解とご英断を賜わり、財政事情の厳しい中を本年度より値上げという誠意ある回答を頂いた事を、6月12日(土)直接お会いして御礼を申し上げた。

子宮頸がん検診委託契約は行政と医師会の間で1年毎に更新される。過去7年間の子宮頸がん検診委託料の推移を(表2)に示す。

(表1) 子宮頸がん検診委託料

	21年度	22年度
青梅市	3,702	3,702
福生市	4,305	4,305
羽村市	4,355	4,830
あきる野市	4,360	4,360
奥多摩町	5,040	5,040
瑞穂町	4,830	4,830

(表2)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
青梅市	4,043	3,934	3,798	3,662	3,526	3,526	3,526
	ダウン率	2.70%	3.46%	3.58%	3.71%		

このような結果になった経緯については当医師会にも十分反省すべき点がある。が、青梅市だけ何故このように年々委託料が下げられていったのであろうか。西多摩医師会8市町村で行われている他の受託事業(予防接種法に基づく個別予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種、乳児健診、特定検診 etc)においては地域格差が生じないように“医療懇”“医療協”等での調整が行われている。申し上げたい事は①専門医として頸がん検診という全く同じ医療行為を行っているのに、同じ医師会内で委託料が異なるのはおかしい、②行政側の財政事情が異なるのは当たり前であるが、その差は受益者負担を持って調整すべきではないか、③委託料は、明確な算定根拠に基づく西多摩統一単価を決定すべきではないか、今回の青梅市子宮頸がん検診委託料改定に際し、感じた事であります。

平成25年度新公益法人制度移行に向け、検討委員会も発足した。西多摩医師会が公益法人と一般法人のどちらを選択するにしても、1医師会として存続する意義を訴えるなら、少なくとも当事例のように、行政からの委託事業に地域格差があるのは好ましくないと思う。調べれば他にも同様の問題が出てくると思われるが、この際、各地域の事業を見直し、是正すべき点は早急に解決して必要があるのではないだろうか。

# 各種任意予防接種の公費助成について

## 地域医療部

西多摩医師会では、会長を先頭に各種任意予防接種の公費助成について検討していくことになりました。

最初に、各自治体における現状をアンケート調査しました。結果は、表1です。

Hib ワクチン、サーバリックス、肺炎球菌ワクチン〈大人、子供〉、インフルエンザワクチンに、現在助成が行われたり、検討されています。

重大な疾病に対する予防注射は、公費の助成を求めていく方針です。今後行政に対し、提言、要望を行っていく予定です。

今後の課題として

1. 地区医師会の取り組みと、どう共同していくのか、
2. 西多摩医師会として、統一した案を作るのか
3. 費用対効果

など

共通の認識を持つ必要があります。意見がありましたら、医師会事務局まで、お願いします。

(文責：川口 卓治)

【表 1】

「西多摩地域における Hib ワクチンなどの公費助成の現状について」

H22.6.8

市町村名	Hib ワクチン	サーバリックス	水痘	おたふく	肺炎球菌 大人	肺炎球菌 子供	A型・B型肝炎ワクチン	高齢者インフルエンザ	その他
青梅市	A. 行っている	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	A. 一部助成	
	1回 4,000円							1回 2,300円	
あきる野市	B. 行う予定である	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	A. 一部助成	
	助成額は検討中							1回 2,300円	
福生市	検討中	検討中	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	検討中	検討中	C. 行う予定はない	A. 一部助成	
								1回 2,300円	
羽村市	検討中	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	A. 一部助成	
								1回 2,300円	
瑞穂町	A. 行っている	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	A. 一部助成	
	1回 4,000円							1回 2,300円	
日の出町	A. 行っている	B. 行う予定である	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	A. 行っている	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	A. 一部助成	
	1回 4,000円	全額			1回 4,000円			1回 2,300円	
奥多摩町								A. 一部助成	
								1回 2,300円	
檜原村	A. 行っている	B. 行う予定である	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	C. 行う予定はない	B. 行う予定である	C. 行う予定はない	A. 一部助成	
	1回 8,000円	助成額は検討中				助成額は検討中		1回 2,300円	
								B. 生活保護全額	



# がん診療連携における連携保険医療機関名簿について

## 広報部

「癌治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保健指導医療機関名簿の作成依頼が東京都医師会からありました。

がん診療連携拠点病院等が関東信越厚生局に提出する「連携保険医療機関名簿」に記載を希望する医療機関は施設基準の届出を関東信越厚生局へ提出して頂きたいとのことです。

なお本年6月8日の時点では掲載してあるような34医療機関が届け出ています。

### 【連携医療機関名簿】

平成22年6月8日現在

地区医師会名： 西多摩医師会

#### 2. 連携保険医療機関に係る事項

がんの種類	連携保険医療機関名	病床数 (有床診療所又は病院)	連絡先
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	羽村相互診療所		羽村市緑ヶ丘1-15-10 042-554-5420
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	滝浦医院		羽村市五ノ神4-3-7 042-555-2655
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団 松原内科医院		羽村市羽東1-16-3 042-554-2427
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団南山会 山川医院		羽村市五ノ神1-2-19かべビル 1F 042-554-3111
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団羽恵会 横田クリニック		羽村市羽東1-8-1 042-554-8580
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	桂川内科医院		福生市鹿川428 042-552-1031
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	福生団地クリニック		福生市南田園2-16 福生団地12-111 042-539-3026
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団藤仁会 ささと整形外科形成外科クリニック		福生市福生657 042-539-2300
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	鳥井内科小児科クリニック		福生市牛浜118-1 コートビル3E&4E-K2F 042-553-6151
<input type="checkbox"/> 胃 <input type="checkbox"/> 大腸 <input type="checkbox"/> 肝 <input type="checkbox"/> 肺 <input type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団 高村内科クリニック		福生市福生767 042-530-2710
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団豊信会 津田クリニック		福生市福生二宮2461 042-539-3161
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団悠教会 波多野医院		福生市福生1046 コヤビル3F 042-551-7545
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団桜春会 平沢クリニック		福生市南田園1-3-11 042-539-0551
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団大聖病院	129床	福生市福生871 042-551-1311
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	新井クリニック		西多摩郡瑞穂町長岡1-51-2 042-557-0018
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団幹人会 草の花クリニック		西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷454 042-557-7995
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	梅郷診療所		青梅市梅郷3-755-1 0428-76-0112
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団片平医院		青梅市河辺町10-16-20 0428-21-1741

※「がんの種類」については、連携参加を希望するがん種にチェックをしてください。

### 【連携医療機関名簿】

平成22年6月8日現在

地区医師会名： 西多摩医師会

#### 2. 連携保険医療機関に係る事項

がんの種類	連携保険医療機関名	病床数 (有床診療所又は病院)	連絡先
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	坂元医院		青梅市河辺町5-21-3かべビル 1F 0428-21-0019
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団厚心会 笹本医院		青梅市住江町58 0428-24-3955
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	千葉医院		青梅市新町2-32-1 0428-32-5888
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	中島内科循環器科クリニック		青梅市師岡町3-19-13 0428-20-2611
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	藤野医院		青梅市柚木町1-253-3 0428-76-0429
<input type="checkbox"/> 胃 <input type="checkbox"/> 大腸 <input type="checkbox"/> 肝 <input type="checkbox"/> 肺 <input type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	みしま泌尿器科クリニック		青梅市新町3-3-1宇津ビル2F 0428-83-3567
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	大河原森本医院		青梅市仲町251 0428-22-2047
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	川辺医院		西多摩郡奥多摩町水川1177 0428-83-2136
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団池谷医院		あきる野市秋川1-3-1 042-550-0005
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団秀仁会 櫻井病院	60床	あきる野市原小宮1-14-11 042-558-7007
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団豊信会 草花クリニック	19床	あきる野市草花2724 042-558-7127
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団鈴木内科		あきる野市館谷156-2 042-596-2307
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団桜幸会 さくらクリニック		あきる野市野辺1003 042-559-0118
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団仁葉会 栗山医院		あきる野市引田552 042-558-0543
<input type="checkbox"/> 胃 <input type="checkbox"/> 大腸 <input type="checkbox"/> 肝 <input type="checkbox"/> 肺 <input type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	米山医院		あきる野市二宮1133 042-558-9131
<input checked="" type="checkbox"/> 胃 <input checked="" type="checkbox"/> 大腸 <input checked="" type="checkbox"/> 肝 <input checked="" type="checkbox"/> 肺 <input checked="" type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺	医療法人社団真胤会 鳩場内科クリニック		西多摩郡日の出町大久野 1062-1 042-597-0550
<input type="checkbox"/> 胃 <input type="checkbox"/> 大腸 <input type="checkbox"/> 肝 <input type="checkbox"/> 肺 <input type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺			
<input type="checkbox"/> 胃 <input type="checkbox"/> 大腸 <input type="checkbox"/> 肝 <input type="checkbox"/> 肺 <input type="checkbox"/> 乳 <input type="checkbox"/> 前立腺			

※「がんの種類」については、連携参加を希望するがん種にチェックをしてください。

# 理事会報告

★ Information

5月定例理事会

平成22年5月25日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：横田・田坂・鹿児島・蓼沼・野本・川間・江本・川口・宮城・近藤・池谷・大島・足立・松原〕

## 【1】報告事項

### 1. 都医地区医師会長連絡協議会報告（副会長）

都医からの伝達事項

平成22年度東京都医師会糖尿病予防推進医講習会【アドバンス編】の開催について  
 地域における虐待対応力研修向上事業の実施にあたっての協力依頼について  
 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関名簿の作成について  
 東京都医師会主催第12回「日本医師会指導医のための教育ワークショップ」の開催  
 平成22年度日本医師会生涯教育制度実施要綱改正案について

### 2. 各部報告

- 学術部 6/12 第6回西多摩緩和ケア研究会（青梅市立総合病院）  
 6/15 西多摩プライマリケア・メンタル勉強会（羽村ゆとろぎ）(5, 69)  
 6/15 学術講演会（青梅市立総合病院）  
 「高血圧治療とレニン阻害薬－ACE阻害薬／ARBを超えるのか」  
 日大教授 久代登志男先生 (73, 74)  
 6/19 肝炎肝癌画家術講演（パレスホテル立川）  
 「栄養からみた肝癌予防治療」東海大准教授 白石光一先生  
 6/23 学術講演会（青梅市立総合）  
 「糖尿病患者に求められる厳格な血圧管理」  
 埼玉医科大学病院長・教授 片山茂裕先生 (73, 74, 76)  
 6/25 学術講演会（青梅市立総合）  
 「それでも漢方薬がおもいつかないときは」  
 帝京大学准教授 新見正則先生 (15, 19, 83)
- 学校医 5/18 学校委員会報告
- 産業医 5/21 (株)アルポリック（是正勧告の訪問指導・休業労災職場復帰）  
 樋口昭夫先生（産業保健センター登録医を5月より辞退）

### 3. 地区会よりの報告

- 青梅市 5/17 幹事会  
 子宮頸癌検診委託料改訂の申し入れ
- 福生市 6/11 蛍を観に行く会予定
- あきる野市 5/17 第18回総会 第140回例会

#### 4. その他の報告事項

##### ○東京都医委員会報告

- 1) 救急委員会（小山英樹委員）  
5/17 救急医療の地域連携  
東京ルールアンケート実施予定
  - 2) 休日・全夜間診療対策（松山健委員）東京ルールに基づく対応病院について
  - 3) 健康スポーツ医学委員会（會澤義之委員）
  - 4) 地域福祉委員会（進藤晃委員）
  - 5) 学校医会
  - 6) 有床診療所委員会委員に玉木一弘医師就任
  - 7) 感染症委員会  
5/17 富士吉田で新型インフルエンザの集団発生  
日本脳炎ワクチンについて
  - 8) 5/20 学校保健委員会 5歳児検診について
- 6/12 西多摩三師会総会・講演会・懇親会開催（フォレストイン昭和館）

#### 【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——
2. 平成22年度都立秋留台高等学校産業医の推薦について —— 承認 ——  
佐野内科クリニック 佐野茂男先生推薦
3. 羽村市特別支援教育指導委員会委員の推薦について —— 承認 ——  
ちひろメンタルクリニック 三ッ汐洋先生推薦（留任）
4. 東京都糖尿病医療連携協議会委員の推薦について —— 承認 ——  
青梅市立総合病院 原義人先生推薦（留任）

#### 【3】協議事項

1. 総務会（新公益法人移行検討会議に関して）協議報告
2. 平成22年度第1回定時総会について
3. 西多摩地域におけるHibワクチンなどの公費助成の現状について  
川口理事より報告（今号記事）
4. その他
  - 多摩ブロック5歳児健診研究会（パレスホテル立川3F）7月2日午後7時30分
  - 地区医師会地域医療担当理事連絡会について  
（がん治療連携指導料施設基準届出ほか）
  - 納涼のタバアトラクションについて  
フラとタヒチアングダンス（田代智子とティアレーズ）

**6月定例理事会**

平成22年6月8日(火)

西多摩医師会館

[出席者：横田・田坂・鹿児島・野本・江本・川口・宮城・蓼沼・大島・近藤・池谷・川間・松原・足立]

**【1】報告事項****1. 各部報告**

- 総務部 5/28 第1回定時総会報告  
 6/2 第2回総務会(新公益法人移行)報告  
 6/10 糖尿病医療連携検討会開催  
 6/29 脳卒中医療連携検討会開催
- 5/27 100周年記念誌編集委員会報告 会長経験者など座談会報告  
 ○ 6/7 第1回新公益法人制度移行検討委員会報告(傍聴可)
- 産業医 4/14 産業保健センター相談(株/アオキホールディングス3人) 西村先生  
 6/28 同上(限/須田組4人)  
 7/12 同上(ケミコン精機/3人)

## 地域医療部

- 6/7 地域医療担当理事連絡会報告(がん治療連携加算について)  
 連携参加希望医療機関一覧(6/8時点で34医療機関)  
 1) 「がん治療指導料」の施設基準に係る届出について  
 2) 脳卒中及び糖尿病の地域連携パスの進捗状況

公衆衛生 西多摩地域におけるHibワクチンなどの公費助成の現状について

**2. 地区会よりの報告**

- 青梅市 6/18 総会開催 サーバリックス助成の要請他  
 瑞穂町 6/7 医師会開催 Hibワクチン、5歳児健診他

**3. その他の報告事項**

- 6/12 平成22年度西多摩三師会総会・講演会・懇親会出席者  
 ○ 4/2 都医病院委員会報告(石田委員)  
 「病院機能地図」について紹介  
 虚弱高齢者療養支援に際したかかりつけ医と地域病院の連携及び救急搬送の問題について、ベストプラクティスの育成や地域医療推進委員会との話し合いが必要
- 5/7 都医病院委員会報告(石田委員)  
 「これからの地域医療の試みについて」  
 平成21年度中救急活動は20年度に比べ若干増加  
 休日・全夜間診療事業実績報告(上半期分)  
 平成22年度病院立入り検査の実施について

**【2】報告承認事項**

1. 入会会員について — 承認 —

**【3】協議事項**

1. 平成22・23年度西多摩医師会各部分掌表・医道審議会表の承認について — 承認 —  
 2. 福生市学校保健会主催の講演会について(継続)  
 平成23年1月16日に行う福生市学校保健会の講演について共催・協賛について

平成22年23年度西多摩医師会各部分掌表・医道審議会表

平成22年6月

委員名

担当副会長

担当部長

担当副部長

副会長 田坂 哲哉 (会長代行)	担当副会長 ◎印 担当部長 ○印 担当副部長	担当理事 ◎江本 浩 ・ ○野本正嗣	委員名 ★江本 浩・野本正嗣・原 義人・諸角強英・西成田進・會澤義之 大野芳裕・土田大介
学術部 (鹿兒島)	学術委員会	◎池谷敏郎 ・ ○川口卓治	★池谷敏郎・野本正嗣・田坂哲哉・小机敏昭・山川淳二・川間公雄 藤沼 翼・川辺隆道・田原邦朗
地域医療部 (田坂)	地域医療委員会	◎川口卓治 ・ ○池谷敏郎	★川口卓治・田坂哲哉・池谷敏郎・山川淳二・川間公雄・藤沼 翼 川辺隆道・田原邦朗
公衆衛生担当	公衆衛生委員会	◎宮城真理 ・ ○近藤之暢	★川口卓治・横田卓史・池谷敏郎・川辺隆道・野本正嗣・丸野二久 神尾重則・山川淳二・西村 理
学校医担当	学校医委員会	◎藤沼 翼 ・ ○山川淳二	★宮城真理・野本正嗣・近藤之暢・田坂哲哉・鹿兒島武志・川辺隆道 新井敏彦・古川朋康・進藤晃・星野誠・
産業医担当	地域産業保健研究会	◎山川淳二 ・ ○川口卓治	★藤沼翼 ・ 川間公雄 ・ 川口卓治 ・ 宮城真理 ・ 横田卓史 ・ 高木 直
介護保険担当		◎大島永久 ・ ○藤沼 翼	★大島永久・藤沼 翼・田坂哲哉・西成田進・松山 健・堀内 正 高木 直・間瀬 清・宮川栄次・安部 学・進藤 晃・三浦剛士 櫻井秀樹・唐橋善雄・原洋二・石田信彦
病院部 (田坂)	病院委員会	◎近藤之暢 ・ ○江本 浩	★近藤之暢・江本 浩・菊池 孝・桑子行正・鈴木寿和・馬場真澄・土田大介 渡邊哲哉
広報部 (鹿兒島)	会報編集委員会	◎岩尾芳郎 ・ ○藤沼 翼 森本 晋 (保険再審査請求審 査担当兼務)	★森本 晋・唐橋善雄・田代 洋・津田倫樹・三ツ沙洋
保険部 (鹿兒島)	社保指導整備委員会	◎川間公雄 ・ ○岩尾芳郎	田中穂積・坂元 龍・清水佐和道・小久保義和・渡邊哲哉
総務部 (田坂)	国保指導整備委員会	◎野本正嗣 ・ ○池谷敏郎	全地区長・中野和広・高木 直・高水松夫
総務部 (田坂)	新社益法人制度移行検討委員会	◎池谷敏郎 ・ ○川間公雄	★池谷敏郎・川間公雄
福祉担当	福祉委員会	◎野本正嗣・池谷敏郎	★田坂哲哉・野本正嗣・山川淳二・小机敏昭・川間公雄・藤沼翼・川辺隆道 田原邦朗・西村邦康・松原貞一・宮川栄次・真鍋勉
	会館建設準備委員会	◎池谷敏郎	★鹿兒島武志・野本正嗣・江本浩・土田大介
	100周年記念誌編集委員会		道又正達・田村啓彦・桂川敬太・會澤義之・込田茂夫・古川朋靖 葉山隆・鈴木道彦・神尾重則・高水松夫・石井好明・田坂哲哉
西多摩三師会	総務全員兼任・全地区医師会長		横田卓史・田坂哲哉・鹿兒島武志・真鍋勉・玉木一弘・池谷敏郎 全地区長
	医事紛争処理委員会(地区長)		野本正嗣・田坂哲哉・小机敏昭・山川淳二・川間公雄・藤沼 翼 川辺隆道・田原邦朗
	(電話苦情処理 110番)		(西多摩) 野本正嗣
	保健所単位地区責任者		
西多摩地区医療保健衛生協議会「医療協」	小机敏昭・山川淳二・田坂哲哉・野本正嗣・藤沼 翼・川辺隆道・川間公雄・田原邦朗		
地区名	青 梅 福 生	瑞 穂	奥 多 摩 桧 原
地区長名	野本正嗣	田坂哲哉	川辺隆道
副地区長名	鹿兒島武志	河内泰彦	池谷敏郎

医道審議会

(委員長) 原 義人 (副委員長) 塩澤三朗 (委員) 神尾重則・木野村幸彦・小林康光・大堀洋一・小机敏昭

ました。翌日は更に悪化したためにみずほクリニックの川間先生を受診して何とか改善してきましたが、2週間たった今でも重いものを持つときなどは不安で仕方がありません。(川間先生その節はありがとうございました)同じ姿勢で診療する事が多いため腰痛を持病にもつ先生も多いと思いますが、私は今回が初めてだったのでショックが大きく、なかなか立

ち直る事も立ち上がる事もできませんでした。とりあえず再発したときに通勤が困難になると困るので身体にも環境にもやさしいトヨタのプリウスを買ってしまいました。他にやる事があるだろうと突っ込まれそうですが、納車まで3ヶ月間再発しない事を祈る毎日です。皆さんも気をつけてください。

鈴木寿和

## お知らせ

### 事務局より お知らせ

平成22年8月(7月診療分)の

保険請求書類提出

**8月9日(月)**

— 正午迄です —

### 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

- ◎相談日 7月は14日(水)  
8月は11日(水)の予定です。
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成22年7月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 近藤 之暢

鹿見島武志 江本 浩 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝  
桑子 行正 土田 大介 奥村 充 渡邊 哲哉

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



(新社章コンセプト) たましのダイナミックに広がりゆく姿を固文字「T」に象徴しています。力強く上昇するカーブは、未来への確実な成長と発展・信頼性を表現しており、地域をつみこむやささと、柔軟かつ躍動的な印象を併せ持ったデザインです。たましの親近感と熱意を象徴するレッド、多摩の自然を象徴するブルーとグリーンを使用します。

# 価値創造合併 多摩に「たましん」 新生誕生。

〈たましん〉×〈たいへい〉×〈はちしん〉は平成18年1月10日合併し、「多摩信用金庫」としてスタートしました。これからも、「お客さまの幸せづくり」を使命に地域とともに歩んでまいります。

多摩信用金庫

<http://www.tamashin.jp>

“健康”のために、  
できること!...

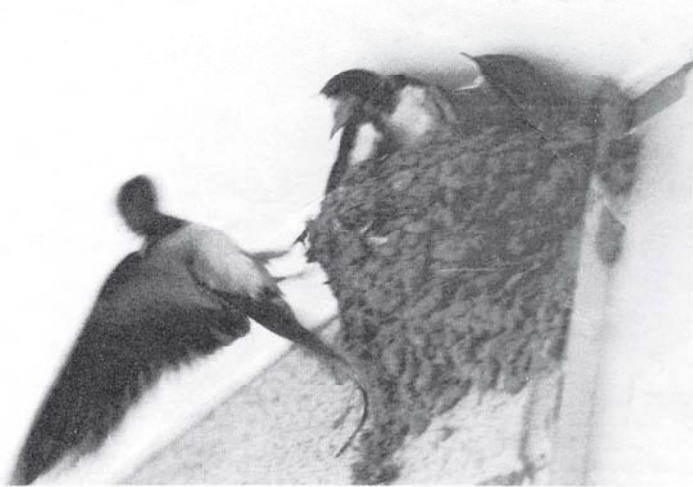


*alfresa*

アルフレッサ株式会社

本社 〒101-8512 東京都千代田区神田錦町一丁目21番1 TEL.03(3292)3331 (代表)

## 健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……  
**(株)武蔵臨床検査所**

食品と院内の環境を科学する  
**F・S サービス**

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8  
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659



東京厚生信用組合は  
福祉・医薬・医療・環境  
衛生の関連事業者の  
発展に寄与してまいります。

東京厚生信用組合は、  
医療関連事業を営む皆様を  
対象として、1953年に設立された  
協同組織の金融機関でございます。

既に各地区医師会で多数の会員の皆様に  
ご利用頂いております。これからも、  
会員の皆様に密着した金融機関として  
努力して参ります。

安心と信頼の  
パートナー

貴重なお時間を有効にお使い  
いただくため、訪問による相談  
業務を得意としております。

お問い合わせは：医師会様担当 落合まで  
●本部〈フリーダイヤル〉

ふくしほえんご

**0120-294805**

### ご融資

- ・クリニック運営資金
- ・学術研究資金
- ・ご子息の教育資金
- ・記念パーティー等の資金
- ・お車購入資金
- ・その他どんな事柄でも

ご相談くださいませ。

都医ニュースでお馴染みの「東京厚生信用組合」です。



「人間・福祉・環境」にやさしい  
**東京厚生信用組合**

本 店 新宿区西新宿6-2-18/浅草支店 台東区駒形1-1-12  
小平支店 小平市美国町1-31-1/青梅支店 青梅市河辺町10-8-3